

会議名		平成 29 年度公民館運営審議会(第 3 回)		
事務局		生涯学習課東地区文化センター		
開催日時		平成 30 年 3 月 14 日(水) 午前 9 時 30 分 ~ 正午		
開催場所		教育委員会室		
出席者	委員	13 名	その他	0 名
	事務局	3 名	傍聴者数	0 名
公開の可否		可		
内容	<p>出席者 座間市公民館担当 稲垣委員 吉泉委員、柳下委員、佐藤委員、山近委員 北地区文化センター担当 木村委員 赤木委員、天野委員、 東地区文化センター担当 松岡委員、飯田委員、佐々木委員、大西委員、 有山委員 職員 座間市公民館長 山頭 北地区文化センター館長 清水 東地区文化 セン+ター館長 岡田</p> <p>稲垣委員長 平成 29 年度第 3 回公民館運営審議会を開催いたします。 学校の先生に置かれましても卒業式等の行事の忙しい中ご出席いただきありがとうございます。 内容がたくさんありますが、有意義に進めてまいりたいと思いますので、ご 協力をお願いします。</p> <p>(委員長) それでは、議題に沿って議事を進めてまいりたいと思います。 議題 1、第 59 回神奈川県公民館大会について報告をお願いします。 佐々木委員と柳下委員より別紙資料の基に報告を行った。 ※別紙①参加報告を添付。</p> <p>(その他委員意見) 会場に入るのに、定刻まで寒い中、外に待たされているのは、いかがなもの か。開場に至るまでの配慮に欠けているので大会運営側の改善を要する。</p> <p>議題 2 平成 29 年度各館の事業評価についての報告をお願いします。 各館長より 29 年度の事業評価について報告した。各館の評価事業について は、以下の通り。 座間市公民館「マジック入門講座」「パパと遊ぼう」</p>			

北地区文化センター「相模が丘地域健康講座」「大人のための朗読会」
東地区文化センター「ワーキングママへの準備講座」「サークル企画講座 1、
2」

※別紙②事業評価書を添付。

(その他委員意見)

ファミリー学級などの講座が同時期に一斉に行うため参加したくても参加できないことになるため、実施時期などについて各館の調整ができるかといいのではないか？

(委員長)

議題3 平成30年度各館の事業計画についてお願いします。

事務局より30年度事業予定表を基に報告した。

※別紙③事業予定表を添付。

(委員長)

議題4 使用料改定に関する条例改正および施行規則についての報告について。

事務局より、以下の通り報告した。

ただいま、3月議会を行っており、本日は民生教育常任委員会が行われている最中であります。その間、前回の公運審の場でも改正(案)についてご意見を頂き、さらにはパブコメなどでも多数の意見を頂き、それらを反映した形で条例(案)を議会へ提出したところであります。

大きな改正ポイントは2つございまして、1つは公民館の使用料が変わります。また、もう1つは減免の仕方について変わります。その他、条文の字句や書式の変更とか細かい点もありますが、その辺については、本日は割愛させて頂き、大きな改正ポイントの2点についてご説明したいと思います。

まず1点目の使用料につきましてですが、現在は、昼間と夜間4時間単位で料金設定をしていましたが、改正後は、昼間・夜間問わず1時間単位で料金を設定しており、30分の利用の場合につきましては1時間分料金を徴収させてもらうよう改定させて頂きました。

料金の算定につきましては、算定式があるのですが、説明すると長くなってしまうので、簡単に説明しますと、人件費や維持管理経費などの経費から部屋の面積割で当て込んだ数値から算定した金額に対し、使用料の金額が急激に高くなっている場所については激変緩和措置を行い料金の再計算をし各部屋ごとに料金を決定したところであり、会議室系は1時間当たり200円台、ホールなどの大きい部屋は470円～760円となっております。

料金の件は以上ですが、サークル利用団体の大多数の方は、おそらく減免利用し

ているところですが、減免方法について定めたものが2点目の内容であります。減免方法につきましては、2つの方法があり、1つは「座間市立公民館使用料減免申請書」を提出するか、もう1つは「座間市社会教育関係団体」に登録する2つの方法で年間通して利用するサークルさんは後者の手続き方法を取るのが大多数と思われます。

「座間市社会教育関係団体」に登録に当たり、団体の会則、名簿、予算書、決算書、団体調査票といった添付資料を用意していただくことになり、内容審査をした後、承認書を交付し年度間は減免になるということになります。

「座間市立公民館使用料減免申請書」を利用する団体ですが、具体的には、社会教育団体以外の団体で自治会連絡協議会とか座間市スポーツ協会、PTA協議会といった団体で年間通して利用するのではなく、単発的に利用する団体の場合はこの申請書を提出していただくことになります。

これらの減免の内容が施行規則に明記しております。実際の施行時期ですが、料金については平成31年4月1日から、減免申請・団体登録については平成30年4月1日施行で行う予定で現在議会並びに委員会へ審議しているところであります。議会の議決日は3月25日になります。議決後には、各館の利用者代表者会議を通じて内容について報告する予定にしております。

質疑応答

(委員)

団体の名簿については、住所氏名はどこまで出す予定か？

(事務局)

施行規則の中に座間市在住在勤在学が半数以上・・・と明記しております。

従前は、館によって全部明記するところもあれば、座間市、宇までとか館により温度差がありますが、これについては、3館と再調整の上対応したいと思います。

いずれにしても座間市の方がどのくらいいるのかの判断材料になります。

以前は、半数以上が座間市在住といっても根拠がなかったため、今回減免については明文化して対応することとしました。

(委員)

使用料取る時期は、使用した後か？前か？

(事務局)

使用前です。申請時(使用する前月の1日から3日前まで)と同時に料金も前納することになっております。こちらについては、現在の条例のとおり変更ありません。

(委員)

時間を超過した場合はどうなるのか？

(事務局)

超過する見込みがあるようであれば、申請時に超過分も見込んで前納してもらう。

従って、利用時間を超過ないように利用してもらうよう徹底してもらう。

(委員)

実際に有料で使うような団体はどんな団体か？

(事務局)

一例をあげれば、関係者以外の人を受け入れないような団体とか、文化祭などのお祭りに参加しないような団体などが有料で使用しているケースがあります。

(委員長)

減免の内容については、パブコメの内容が活かされたのではないかと思いますし、何とかこの内容で可決してもらえたらありがたいと思います。

(委員長)最後にその他連絡事項についてお願いします。

事務局より、30年度の全国・県公連関係事業予定について以下の通り報告した。

全国・県公連関係 平成30年度行事予定

平成30年11月1～2日 第40全国公民館研究集会東京大会

於 日本青年館

平成30年11月9日 公民館館長・公民館運営審議会委員等研修会

於 山北町立生涯学習センター

平成31年1月18日 第60回県公民館大会

於 平塚市中央公民館

(委員長)

長時間にわたり、ご審議頂きありがとうございました。

18.02.13

第59回神奈川県公民館大会参加報告

記述：公民館運営審議委員 佐々木邦彦

掲題大会に出席させていただきましたので、その概要について、以下の通りご報告いたします。

1, 日時：平成30年1月25日(木) 13:30~16:40

2, 会場：藤沢市湘南台文化センター市民シアター大ホール

3, 大会次第

13:30 アトラクション 太鼓集団「ふじ」 鶴沼エコー

14:10 大会式典

(1) 公民館の歌斉唱

(2) 開会のことば 神奈川県公民館連絡協議会

副会長 森 政則様

(3) 主催者あいさつ 神奈川県公民館連絡協議会

会長 木下 敬之様

藤沢市教育委員会 教育長 平岩 多恵子様

(4) 表彰

(5) 祝辞

藤沢市役所 副市長 宮沢 正志様

神奈川県教育委員会教育局生涯学習部 部長 松井 聡明様

14:50 休憩

15:00 講演

16:30 会旗引き継ぎ

16:40 閉会挨拶 神奈川県公民館連絡協議会 副会長 渡邊 亮様

以上の次第については、詳細についてご報告は、割愛させていただきますが、上記(4)の表彰において東地区文化センターの植松賢也さんが、職員等功績表彰を受けられたことを付記いたします。

以下、講演についてその概要をご報告いたします。

テーマ：「人とひと 学びと暮らしをつなぐ公民館」

～改めて公民館の原点に学び、これからの活力ある公民館を目指す～

講師：RE Learning (リラーニング) 代表 秦野 玲子様

1. 公民館の成り立ち

寺中作雄氏 「社会教育の事業を恒久的に継続してゆくような機構を作り、人と施設と事業とが並行して進む、その社会教育の中心施設として公民館というものを考えたらどうか」

そもそもの原点を振り返り、今につなげて行きたい

* 公民館は教育の2大柱 義務教育の国民学校と並んで

* 民主政治実現のための公民教育の場

└ 実践教育(地域に属しその運営に当たる)

相互教育(相互に見識を深める)

総合教育

2. 新しい社会教育の出発

* 社会教育の意義

民主主義のためには、国民が良識や能力を備えていることが前提にある。

* 民主主義的社会教育

民主的な人間を育成し、平和にして民主的な社会を建設をすることが大事

* 社会教育の方法と形態

自由な雰囲気の中で教育効果を上げるかという方法技術が重要、授業の形ではない討議、グループでの相互教育などのインフォーマルな指導

* インフォーマル指導法の目標

アクティブラーニング、参加型学習、視野を広く見識を深める、責任ある自己決定、自己批判・自己訓練・自発的動機を磨く、思考と行動の関連

* 社会教育の計画・活動の考慮点

学習プログラム＝生活に結びついた課題、自分たちが語り合いたい気持ちを大切に、運営に受講者が参画(学級の基本)、教育計画に変化を、活動計画は科学的根拠があるものに、地域社会の実態把握と現状分析

3. 公民館のこれから・・・次の4点から考える

(1) 「地域学校協働活動」から考える

地域課題に関する問題提起、整理、解決策を仲間とともに進める

ファシリテート能力→意見を言いやすくする、合意形成意見相違は知的に処理、

協働・・・一方的支援ではなく、一緒に何ができるかを考える対等なパートナー、そのためには理念・知識・技術が双方に必要

(2) 子どもにつけたい力から考える

新学習指導要領 新しい時代に必要な資質・能力の形成

- *知っていること、何ができるか、(個別の知識・技能)
- *このことを問題発見・解決のためにどのように使うか
- *どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
(感情や構想を統制する能力や学び、多様性尊重の態度、リーダーシップなど)

キーコンピテンシー 個人が深く考え、行動することの必要性、

- *社会的・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する力
- *多様な社会での人間関係形成能力
- *自律的に行動する能力
思考力、表現力、判断力、協働力、自律力、課題発見力、
問題解決能力→これらは講義だけでは身につかない。

(3) 最近の中教審答申から考える

学びと活動の循環

- *学習者同士のネットワーク化による支援が必要、グループ学習の
必要性
- *グループ学習は個人学習よりも有効
顔の見える関係、自分で話す、聞く、書く、お互いに確認
興味、関心が多方向へ、人間関係調整能力を培う

(4) 公民館職員能力から考える

公民館の役割は関係からの体験づくり

- *顔の見える関係の中の橋渡し役
- *人と学びの管家
- *人とグループの関係
- *グループ同士の関係

課題解決型学習で公民館職員に求められるもの 学習支援に徹する

- *情報提供者としての役割
- *困った時の相談者「メンター」の役割 カウンセリング能力
- *学習プロセスを読み取って働きかけるファシリテーター能力
- *振り返りで次を考える省察的実践者

公民館職員の力量形成のために

- *共同学習のプロセスを体験する
何のためにこの手法を使うのか、学習の展開プロセスは、
丁寧に省察すること、自分のやりがいにつながる仲間を作って
ほしい

全国公民館連合会の報告

*公民館活動の究極の狙いは、住民の自治能力の向上にある

自治能力とは

*自己決定力 *合意形成能力 *課題発見能力 *課題解決力

*組織運営能力 *関係調整能力

*社会参画できる人を育てる

*原点回帰→学びによって民主的に街を作る中心になる人材育成

まとめ

学ぶことは権利であり、公民館は公的な役をありとして、人々の権利を支える責任がある。

「小生の感想」

公民館の成り立ちから始まって、時代が進むに従って「公民館の役割」の微妙な変化、それに伴う公民館職員のあり方や学ぶべきことの変遷などがよく整理されており、公運審の一人として大変参考になった。

民主主義や人権などのことばも多く、何かともの言えない社会の到来が危惧される中で、公民館の役割が国民や地域住民を支えることを考えると、寺中作雄氏の語った原点に立ち戻るべきとのことばの重さが、ひしと伝わってくる。

社会教育に関する大変勉強になった場であったが、社会教育における生涯学習のあり方についても触れてほしかったと思う。

以上

〈テーマ・大会趣旨〉

「公民館構想から70年。公民館は何を目指すのか？」

～ 住民の学び・地域と学校との絆を深め、「地域創生」に貢献する公民館へ ～

※ 秦野 玲子 氏 の講演を聴講して感じたこと

講演のテーマ 「人とひと 学びと暮らしをつなぐ公民館」

～ 改めて公民館の原点に学び、これからの活力ある公民館を目指す ～

(1) 講演内容のあらまし

1.公民館のなりたち

・寺中作雄氏の「公民教育の振興と公民館の構想」(昭和20年12月)

★公民館 公民館は 義務教育機関である国民学校と並ぶ 教育の二大支柱

公民館は 民主政治実現のための公民教育の場

第1に実践教育、第2に相互教育、第3に総合教育であること

2.新しい社会教育の出発

1).社会教育法の制定 (昭和24年4月)

2).「社会教育の方法」 (昭和29年5月)

(社会教育の現場で実践活動に当たっている人の
資料として編集したもの)

・社会教育の意義

・求められる社会教育

・民主主義的社会教育

・社会教育の指導原理

・社会教育の方法と形態

以上それぞれのタイトルの一部を抜粋

3).公民館図説 (昭和29年11月)

・公民館の役割を図解しながら解説したもの

★科学的性格・・・公民館の活動は思いつきでなく科学的根拠に立脚しなければならない

★公民館は学びを通して、地域の福祉や健康が向上するための場所

3.公民館のこれから

公民館のこれからの4点から考える

(1)「地域学校協働活動」

地域課題についての問題提起や解決策を仲間と共に進める事ができるファシリティ能力。

(2)子供に付けたい力

新学習指導要項・・・思考力、表現力、がゆたかで、主体的な判断ができる。

(3)最近の中教審答申 (平成28年5月)

課題解決型学習に用いられる、グループ学習の重要性。アクティブラーニング人間関係調整能力をグループ内で培う。

(4)公民館職員の力量形成

人と学びの関係、学習支援者、顔の見える関係、人と人・グループの関係、

★課題解決型学習で、公民館職員に求められるもの

- ・適切なタイミングで、適切な情報を提供する情報提供の役割
 - ・困った時に相談に乗ってくれるコメンテーター? の役割
 - ・学習プロセスの展開を読み取り、働きかけをするファシリテーターの役割
- 学習者とともに実践を振り返り、互いに実践力を磨く「省察的实践者」であること

★公民館職員の力量形成のために

- ・職員自身が共同学習のプロセスを体験する。方法だけをわかったつもりになるのではなく、
 - ①なぜ、何のためにこの手法を使うのか
 - ②そこでの学習の展開プロセスは
 - ③グループダイナミクスはどうおこるのか

これらを体験し丁寧に「省察」することで、力量が形成される

★全国公民館連合会の報告「公民館のあるべき姿と今日的指標」（昭和42年）

- ・「公民館活動の究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある」と述べられている。
- ・公民館においては、自治能力が培われるような学習を目標としてきた。

自治能力とは、

・自己決定力	・課題発見能力	・組織運営能力
・合意形成能力	・課題解決能力	・関係調整能力 など

★公民館のこれからは「学びによって民主的にまちをつくる中心になる」という「原点回帰」

学ぶことは権利であり、公民館は公的な役割として、人々の権利を支える責任がある。

(2) 講演を聴講して感じたこと

- ・ 毎回参加して、何か似たようなテーマが多いと思いますが、この辺で何ができるのか整理しておく必要があるのではないだろうかと感じています。基礎的な内容はさておき、公民館のあるべき姿、目指すべきこと、など多岐な内容にわたり講演されております。
- ・ これらの項目については、何ができていて何が不足しているかを、新年度の事業実施にあたり出来れば関係者で討論することが出来ないものでしょうか。
- ・ 地域の学校との協働活動、子供向けのグループ学習、公民館職員の力量形成、課題解決型で職員に求められている役割、自治能力の向上に向けた学習、等々が毎回の公民館大会で求められています。
- ・ これからの座間市の公民館は、何を目指していくのか。長所や短所の項目を出し合いそれらをお互いに自覚し合いながら、おぼろげながら見えてくるようにしたいものです。

平成29年度
座間市公民館事業評価シート

公民館名	記入者
座間市公民館	山頭幸子

事業名	マジック入門講座	事業担当 職員数	1	予算額	0	千円
				実施額	0	

1. 生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(7) 学習関連機関およびコミュニティ関連機関との連携による生涯学習の推進
基本施策	(1) 市民が主役となる生涯学習の推進

2. 事業の概要

対象(誰を/何を)	期 日	定員
どなたでも	平成29年10月28日(土)	
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
マジックを観覧者としてだけでなく実演者なることで、テクニックを学ぶとともに趣味を広げる		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか)		
手作りマジックの作成・実演練習		

3. 事業の実績

活動指標	目標値	実績値			備考
		前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	1回		1回	1回	
② 応募率(%) (参加者数)	60%		75%	60%	
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	100%		100%	100%	

アンケート結果による受講者の感想等

別紙のとおり

4. 事業の評価 (29年度マジック入門講座)

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes ← 5 3 1	No →	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	○		マジックが好きで、一芸を習得したい人、何かでみんなを楽しめることが好きな人には必要性があると思う。また市民の企画による事業であるため一定のニーズがあるものとする。
	②市民のニーズに応えているか	○		
	③公民館の事業としてふさわしいか	○		
	④事業の参加者に偏りがいないか	○		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	○		効率性については、コスト削減、所要時間縮減など類似する事業もないため、これ以上の効率性を求めることは難しい。
	②さらに事業費や所要時間を削減する手段・方策があるか	○		
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか	○		
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	○		趣味を増やすという点では市民の理解は得られると思うが、受講生にリピーターも見られ公平性に関しては偏りが生じてしまう恐れがある。
	②市民の理解を得られる事業であるか	○		
	③受益者負担は今のままで良いか	○		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切・できない・ない		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes 5 ← 3 1 →	No	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	○		「趣味を広げる」という目的からは、一つの選択肢として意味のある講座だと思う。ただ、応募率が昨年より下がっていることと、リピーターが多い(?)ということから、今後の参加者の偏りが懸念される。
	②市民のニーズに応えているか	○		
	③公民館の事業としてふさわしいか	○		
	④事業の参加者に偏りがいないか	○		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	○		講師も親しみやすく、身近なものを使ってマジック講座で、気軽に参加できる。マジックの内容によって、材料費等の追加徴収があった(?)が、参加者一律にするなど統一した方が良いと感じる。
	②講師は事業内容にあっていたか	○		
	③参考資料・材料などが適切であったか	○		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	○		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	○		簡単に実践できるマジックが多く、宴会の余興等ですぐに役立つ講座であったが、周りにネタバレしやすいものが多く、参加者が十分成果を得たかどうかは疑問もある。 マジックの内容等、マンネリ化しないよう十分に練っていく必要もある。
	②出席率は良かったか	○		
	③事業の目的が達成されたか	○		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	○		
評価	4 5⇒適切、よい		3⇒概ね適切、妥当	1⇒わるい

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=B	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント	
<p>今回、講座を見学した所感としては、全体として完成度が低く、指導方法や内容など改善の余地が多くみられた。また、受講者の反応もそれ程ではなく、メニュー的に的確なニーズ把握が必要だと感じられた。趣味分野での公民館事業としては、一定の効果があったと思うが、今後も継続して公民館が関わっていく必要はないと思う。公民館としては、公平性の観点から分野を拡げ、より多くの参加者が期待される事業を選択し、内容を吟味精査することで、今後の事業展開を活性化していただきたい。</p>	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」されることになる右寄りならば事業について再考すべき

マジック入門講座 (手作りマジックの楽しみ方) アンケート

開催日：平成29年10月28日 13:30~16:00

会場：座間市立公民館・日本間

主催：座間マジック同好会 (担当者：廣瀬)

共催：ZAMA生涯学習ボランティア研究会 (東ヶ崎)

提出：9人 (参加者数：12人) <公民館審運営審議会委員 視察：6人>

性別：男(3) 女(3) 未記入(3)

居住地：座間市内(9)

年齢：30歳代(1) 60歳代(2) 70歳代(4) 80歳代(2)

広告媒体：広報さま(4) チラシ(2) タウン誌(1) 知人(2)

講座の難易度：やさしかった(3) まあまあ(3) やや難しかった(3)

学習の効果：半分ぐらい知っていた(1) 初めて知ることが多かった(8)

講師の説明：やや分かりにくかった(1) まあまあ(4) 分かりやすかった(4)

これからの行動：同じ講座をさらに深く(3) 自分で実践する(3)

特に何もしない(1) 未記入(2)

その他感想：

↑出来るだけ簡単なマジックをたくさん知りたい。

↑紐が楽しかったです。またやりたいです。

↑手品を上手になって、皆さんを楽しませたい。

↑次講座があれば参加したい。

未記入(5)

平成29年度 座間市公民館事業評価シート

公民館名	記入者
座間市公民館	小嶋まゆみ

事業名	パパと遊ぼう	事業担当 職員数	2	予算額	10	千円
				実施額	10	

1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(4)豊かな心を育む家庭教育の推進
基本施策	②乳幼児を持つ親・保護者への学習支援の推進

2. 事業の概要

対象(誰を/何を)	期 日	定員
親子(パパと子ども)	平成29年12月10日(日)	
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
子どもの発達に応じた遊び方を学ぶことで父親と子どものコミュニケーションを図り父親の育児参加を促す		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか)		
小さな子どもたちを子育て中の保育者(パパ)と就園前の子どもを対象にし、ママと一緒にだと、子どもたちはママのところに行きがちで、パパもママに遠慮したりママが口出ししてしまうので、この講座はママたちを入室禁止にすることで、子どもパパも安心してふたりで遊ぶことができる環境を作り2時間親子で楽しい時間を過ごす。(ママは別室で同時中継している映像をみることができるようになっています)		

3. 事業の実績

活動指標	目標値	実績値			備考
		前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	1回	1回	2回	1回	今年度は当初から1回の設定
② 応募率(%) (定員/申込者数)	/	/	/	/	特に定員は設けていません
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	/	/	/	/	風邪の時期なので当日欠席が毎回あります

アンケート結果による受講者の感想等

アンケートなし

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes ← 5 3 1 No →		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	⊕		母親に子育ての比重が偏りがちなので、常日頃、パパ向けに「子育ては期間限定のプロジェクトX」と称して男性の育児参加を促しています。公民館での保護者対象の学習支援事業は他市に比べて充実していると受講生たちにも言われます。
	②市民のニーズに応えているか	⊕		
	③公民館の事業としてふさわしいか	⊕		
	④事業の参加者に偏りがいないか	⊕		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか		⊕	座間市在住の池野先生が座間市のために何か出来ないかとのことで、厚木園幼稚園の副園長の仕事のお忙し中、薄謝で来ていただいているのでこれ以上のコストの削減は難しいと思われま
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか		⊕	
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか		⊕	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	⊕		「広報ざま」及び「講座ちらし」や「子育てカレンダー」「市HP」などで広く一般に周知しているので公平性は保たれていると思います。
	②市民の理解を得られる事業であるか	⊕		
	③受益者負担は今のままで良いか	⊕		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切・できない・ない		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes ← 5 3 1 No →		
必要性・有効	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	⊕		近年は、男性も育児に積極的に参加するということが珍しくなくなった。しかし、若い父親は多忙で、なかなか子どもとどう関わったり遊んだりすればいいのかわからないことが多い。そういった点から、時代のニーズに合った講座である。
	②市民のニーズに応えているか	⊕		
	③公民館の事業としてふさわしいか	⊕		
	④事業の参加者に偏りがいないか	⊕		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	⊕		子どもとの遊び方は、なかなか教わる機会がないこともあり、参加者は、大変関心を持って臨んでいた。身近なものを使用した遊びをたくさん用意していただいたので、家に帰ってからすぐに実践できるものであった。
	②講師は事業内容にあっていたか	⊕		
	③参考資料・材料などが適切であったか	⊕		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	⊕		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	⊕		楽しく子どもと活動する中で専門家から遊び方を学ぶことができ、参加者は、十分満足したのではないかとと思う。一方、冬場は風邪やインフルエンザなどが流行するため、小さい子が参加する講座として、時期が適切かどうか考えていく必要がある。
	②出席率は良かったか		⊕	
	③事業の目的が達成されたか	⊕		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	⊕		
評価	4 5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当		1⇒わるい	

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント	
<p>女性の社会進出が目ざましい時代となった今、「育児は母親任せ」という時代はもはや過ぎてしまった。普段なかなか子どもと接する機会がない父親にとって、この講座は十分に親子のふれあいができ、どのように子どもと遊んでいけばよいかを学べる楽しい講座であった。身近なものを使っての遊びは、家に帰ってからすぐに実践できるもので、参加者は子どもと楽しく活動する中でたくさんのことを学ぶことができ、満足していた。事業を継続していくことは良いと思うが、季節がら、インフルエンザ等の流行など、開催時期を検討していく必要があると思われる。また、スリッパ、靴下、素足で活動している方もいて、参加者の安全面を徹底していくために、チラシの内容をよりわかりやすくするなど、改善する必要がある。</p>	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」されることになる右寄りならば事業について再考すべき

平成29年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
北地区文化センター	片野

事業名	大人のための朗読会	事業担当 職員数	2	予算額	70	千 円
				実施額	70	

1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(1)市民が主役となる生涯学習の推進
基本施策	②市民の自主企画による学習機会の提供

2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	期日	定員
不特定(成人)	①平成29年5月28日13:30~15:00 ②平成29年10月1日13:30~15:00 ③平成30年1月28日13:30~15:00	150

目的(対象者がどのようになることを目指しますか)

文学作品を自分で読む楽しみのほかに朗読を聞くことにより、自ら読むのとは違った世界観で話の世界に入り込みひと時現実から文学の世界に入り込み楽しんでもらう。

内容

「泣かない女」藤沢周平、「十三きょうだい小川洋子、谷川俊太郎の詩、狂言、川柳
「トロッコ」芥川龍之介、「変り目」落語より、「東京日記」より内田百閒、「砂村新田」より宮部みゆき、詩、川柳
小舞「栗焼」、「約束」藤沢周平、「虔十公園林」宮沢賢治、「芝浜」落語より

3. 事業の実績

活動指標	実績値			備考
	前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	3	3	3	
② 応募率(%) (申込者数/定員)				申込制ではないので応募率はでない。
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)				申込制ではないので出席率はでない。

アンケート結果による受講者の感想等

①実に張りのある声で実写的な朗読ですね。感心通り越してビックリしました。泣きました。②いつも引きこまれます。朗読会のおかげで余り読まなかった本も少し読むようになりました。いろいろな作品が聴けて楽しい会でした。ベルレーヌの詩、日本語と仏語両方で聴けるとは！舞台作り、バックの色替えなどきめ細かい雰囲気作りもしてあり、朗読の質のよさにびっくりしました。地元でこのような本格的なものに出会えたこと…感謝！！③以前から興味がありましたが、初めて参加させて頂きました。目の前に景色が浮かび上がるようで引きこまれていきました。言葉の力を大切にしたいです。

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes ← 5 3 1	No →	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		毎回、多くの方に楽しみにしていただき、文学を広めるという意味でも公民館の事業にふさわしいと感じる
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか		<input checked="" type="radio"/>	1回の朗読会で朗読者、スタッフには3日間北地区に通い準備をしていただいている。経費削減は難しいと考える
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか		<input checked="" type="radio"/>	
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか		<input checked="" type="radio"/>	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	<input checked="" type="radio"/>		市民全体に周知し参加者も多い、公民館事業である限りは受益者負担は今のままでいいと考える
	②市民の理解を得られる事業であるか	<input checked="" type="radio"/>		
	③受益者負担は今のままで良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当 1⇒不適切・できない・ない		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes ← 5 3 1	No →	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		毎回楽しみにしている方が参加している。地元のプロの方がやっていただけて喜ばしい。忙しい社会情勢の中、ひと時現実から離れ、物語の中に入り込めるのがとてもいいと思われる。
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	<input checked="" type="radio"/>		舞台づくりなど工夫されている点が良い。朗読講座などに広がりをもてると持っていていいのではないか。
	②講師は事業内容に合っていたか	<input checked="" type="radio"/>		
	③参考資料・材料などが適切であったか	<input checked="" type="radio"/>		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	<input checked="" type="radio"/>		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	<input checked="" type="radio"/>		目的の通り行われているので良い。
	②出席率は良かったか	<input checked="" type="radio"/>		
	③事業の目的が達成されたか	<input checked="" type="radio"/>		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価	5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当 1⇒わるい			

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント≫ 一時でも現実から逃避できて良い。近場でこういった朗読が聞けるので良いのでは。お年寄りも来やすい	
舞台づくり、リハーサルから熱が入ってて良い。	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」、右寄りならば事業について再考すべき

平成29年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
北地区文化センター	清水 京子

事業名	相模が丘健康講座	事業担当 職員数	2	予算額	0	千円
				実施額	0	

1. 生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(7)学習関連機関およびコミュニティ関連機関との連携による生涯学習の推進
基本施策	⑤関連機関との連携による生涯学習の推進

2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	期日	定員
地域住民	①9月5日(火) 13:30~15:30 ②11月30日(木)10:00~12:00 ③1月24日(水)13:30~15:30	各20~50

目的(対象者がどのようになることを目指しますか)

医師や専門職の知識や協力を得ながら講座を開くことで、地域住民の方に健康に対する関心を深めて頂く。

内容

相模が丘コミセンとの共催事業 ①コグニサイズをいしましょう②乳房の仕組みとがんについて③胃がん大腸がんについて

3. 事業の実績

活動指標	実績値			備考
	前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	4	5	3	
② 応募率(%) (申込者数/定員)	/	/	/	申込制ではないので応募率はでない。
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	/	/	/	申込制ではないので出席率はでない。

アンケート結果による受講者の感想等

①・残り二回も期待しています。・実技が楽しかったです。・参加してよかった。勉強になった。・思ったより難しかったがとてもためになった。次回も参加したい。自由参加でこのような講座を開いて頂けると大変喜ばしい。②・大変わかりやすかった。よく理解できた。・質問もできて良かった。・仕組みを詳しく教えていただきよかった。・資料も見やすかった。・早期発見の大切さがわかり検診を受けようと思った。・骨密度も測れてよかった。・40代の娘に教えようと思った。保育付きで気兼ねなく参加できた。③とても参考になりました。資料も良かったです。・検査治療法について知らないお話が聞けて良かった。・わかりやすく説明していただいたので良かったです。

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes ← 5 3 1 → No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		相模が丘地域を対象にコミセンとの共催で長年続いている事業で、毎年多くの参加者がある。少子高齢化の進む中、健康への関心は深く市民のニーズにも公民館事業としても役割を果たしていると考え。また、対象者も高齢者、子育てママをターゲットに開催した。
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	<input checked="" type="radio"/>		コミセンと事務の役割分担をし、地域の輪の拠点を会場として使うことで参加の集客数を増やしている。他に類似の事業はない。
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか	<input checked="" type="radio"/>		
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか		<input checked="" type="radio"/>	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	<input checked="" type="radio"/>		高度な専門知識を必要とする講座のため相模台病院の講師を迎えてテーマを決めた。偏りが生じてはいない。市民の理解も得られている。事業の性質的に受益者負担はないものとする。
	②市民の理解を得られる事業であるか	<input checked="" type="radio"/>		
	③受益者負担は今のままで良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当 1⇒不適切・できない・ない		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes ← 5 3 1 → No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		新聞折り込みなどのお医者さんの講演会は遠いのでなかなか行けないが近場で行きやすく、質問しやすい雰囲気でも時間も長すぎず高齢者も参加しやすい。
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	<input checked="" type="radio"/>		関心を持って方が多く、沢山質問をしていた。院長や部長などのお話が聞けて良い。資料も普段では見ることがないようなものであり適切である。長年続いているということは毎年工夫改善されているのではないかと。内容によっては保育付きにしたりなど考えてゆけばよい。
	②講師は事業内容に合っていたか	<input checked="" type="radio"/>		
	③参考資料・材料などが適切であったか	<input checked="" type="radio"/>		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	<input checked="" type="radio"/>		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	<input checked="" type="radio"/>		参加者数は多く十分な成果を与えていた。予定数を超え資料が足らなくなるほどであった。アンケート結果を見ると良かったという意見が多かったので目的達成された。テーマは変えつつもこのまま続けていった方がよい
	②出席率は良かったか	<input checked="" type="radio"/>		
	③事業の目的が達成されたか	<input checked="" type="radio"/>		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価	5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当 1⇒わるい			

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント>> 目新しいものがあつた方がよい、これから少し内容を変化していくことも大事。高齢者はちょっと病んで落ち込んでしまいがち、気持ちを切り替えられる内容も加えて欲しい。	
保健師さん、心理カウンセラーなどを講師に迎えたりするのも良い。近場でこういった事が聞けるのはとても良い。	
近くの施設と類似した内容の講座は控えた方がよい。	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」、右寄りならば事業について再考すべき

平成 29 年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
東地文化センター	安藤咲枝

事業名	ワーキングママへの準備講座	事業担当職員数	1	予算額	50	千円
				実施額	61	

1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(3)現代的課題に対応した生涯学習の推進 (8)学習活動の支援体制の確立
基本施策	③男女平等教育の推進 ①学習情報提供・相談体制の充実

2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	期間	定員
子育てと仕事について関心のある母親	平成29年9月14日(木)、28日(木)10月5日(木)	25
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
地域の先輩ママと保育課、保育園より講師を招き、子育て中の母親が、子育てと仕事の両立という課題と、地域、座間市の子育て、保育環境について、知り、考え、交流できる機会となることを目的とする。		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか) ※プログラム構成の内容		
①9/14(木)「地域の先輩ワーキングママとの座談会」 ②9/28(木)「座間市の保育基礎情報・子ども子育て新支援制度で何が変わったの?」 ③10/5(木)「子育て・保育・仕事は大切な課題～地域で奮闘するたくさんの保護者とともに～」		

3. 事業の実績

	活動指標	実績値			備考
		前々年度	前年度	今年度	
①	講座等の回数	2	2	3	
②	応募率(%) (定員/申込者数)	57% (17/30)	40% (12/30)	80% (20/25)	H28年度まではサロン、H29は連続講座をして実施。
③	回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)			75%	

アンケート結果による受講者の感想等

・現役のワーキングママさんの話をきけて今の保育現況参考になりました。一時保育・それぞれの環境で答えがないコトなのでこれから考えなきゃと思いました。みんな不安なんだな…「知る」ことの大切さを教えてくれてありがとうございます。

・事務に興味があったが「blankがあるから無理かな」とあきらめていたが、ざまっぷや子育てカレンダーの編集などをしてPCスキルを保ったり、就活に活かせることにビックリしました。自分もいろいろとチャレンジして、就活に活かしたいです。

・待機児童が多い中、自治体として色々な取り組みをしていることが改めてわかり、今後解消されていくことを期待しています。保育課の方と普段お話できる機会があまりなかったので、とてもよい講座だったと思います。

・仕事、育児とも不安と悩みがいっぱいではありますが、体を整え、元気に過ごせば自ずとぶれずに、進んでゆけるかなと、希望を見いだした心地です。日々、あくせくしてはいますが必死の背中をみせようと思います。

・保育園は入れればどこでもいいと選んではいけないと実感できた。保育園のポリシーがしっかりとあるので、よく知って納得して選ばなくてはいけないことがよく分かった。

・園の見学などの情報収集。自らの働き方をどうするか…いつからか等を家族と現状に合わせ相談をしていこと思った。

・就労のタイミング、子どもの預け先はしっかり調べたいと思いました。預けられれば働ける…という簡単な考えではなく、あらゆる場面を想定して考えたいと思います。

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価			コメント
		Yes 5 3 1	No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>			少子化、共働き世帯の増加などの課題に向き合う講座として大切。
	②市民のニーズに込えているか	<input checked="" type="radio"/>			
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>			
	④事業の参加者に偏りがいないか		<input checked="" type="radio"/>		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか			<input checked="" type="radio"/>	現状の手段・企画を今後も継続したいと考える。
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか			<input checked="" type="radio"/>	
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか			<input checked="" type="radio"/>	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	<input checked="" type="radio"/>			育休中のママたちの公民館活用の一端にもなっていることは大切。
	②市民の理解を得られる事業であるか	<input checked="" type="radio"/>			
	③受益者負担は今のままで良いか	<input checked="" type="radio"/>			
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切。			

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価			理由
		Yes 5 3 1	No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>			国が推進する女性の社会進出にも対応して、これからますます必要性・重要性が高くなる事業と思う。 出産を機に仕事を辞めた女性が家計を助けるために再就職を考える上でいろいろな意見が聞けたことはよかった。
	②市民のニーズに込えているか	<input checked="" type="radio"/>			
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>			
	④事業の参加者に偏りがいないか		<input checked="" type="radio"/>		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	<input checked="" type="radio"/>			受講生17名は適切な人数であり、関心度が高いことがわかる。先輩ママたちの実体験に基づく意見交換は受講生にとっても参考になったのではないかと。通信やアンケート資料、前回講座レポートなど準備も万全であり館側の熱意が伝わったと思う。
	②講師は事業内容に合っていたか	<input checked="" type="radio"/>			
	③参考資料・材料などが適切であったか		<input checked="" type="radio"/>		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか		<input checked="" type="radio"/>		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	<input checked="" type="radio"/>			経験者の体験談を聞いたり、再就職先の情報交換等ができたりにして事業効果大。座間市保育課やまっこ保育園など行政や保育園としての運営方針などを直接聞く機会なども織り込まれており、貴重な経験だったと思う。
	②出席率は良かったか	<input checked="" type="radio"/>			
	③事業の目的が達成されたか	<input checked="" type="radio"/>			
	④この事業内容は見直さなくて良いか		<input checked="" type="radio"/>		
評価					

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント 参加者の意識が高く、充実した学びにつながっていた。せつかくの同じような立場の人たちが集まった交流の場なので、簡単な飲み物などがあってもよかったのでは。子育て中のお母さんには、ブランクが長ければ長いほど、仕事を始める不安を持っている人が多いと思う。保育のこと、子供への影響、資格準備等について講師の方々の熱心なお話を聞いて子育てしながらでも自分の希望する仕事を目指して頑張ろうと思う方がいたら事業目的としては達成と思う。	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」、右寄りならば事業について再考すべき

平成 29 年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
東地文化センター	岡田勉

事業名	サークル企画講座1(市民版画体験教室)	事業担当 職員数	1	予算額	10	千 円
				実施額	20	

1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(2)地域に根ざした生涯学習の推進
基本施策	①地域課題の解決や市民生活向上のための学習機会の提供 ②市民の自主企画による学習機会の提供

2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	期間	定員
市内在住・在勤者	平成29年11月4日(土)、11日(土)、18日(土)	20
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
東文活動サークルと協力して市民向けの講座を実施する。		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか) ※プログラム構成の内容		
木版画を通じて年賀状を作成する。講師については、東文活動サークル「きつつき版画倶楽部」の皆さんに依頼して講座を行う。		

3. 事業の実績

活動指標	実績値			備考
	前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	3	3	3	
② 応募率(%) (定員/申込者数)	85% (17人/20人)	75% (15人/20人)	100% (20人/20人)	
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	1回目	2回目	3回目	
	85% (17人/20人)	85% (17人/20人)	80% (16人/20人)	

アンケート結果による受講者の感想等

・先生方が丁寧に教えてくださり、版画の大変さもわかりつつ楽しく授業が受けられてとてもよかったです。

(多数意見)

- ・年賀状以外の木版画講座をやってほしい。
- ・丁寧に教えていただきましたが、技量がついていけませんでした、楽しかった。
- ・講師の方が、マンツーマンで指導される形になるので、待っている時間が惜しかった。
- ・人によってテクニックが違うので、初日は戸惑いましたが、説明や話を聞いているうちに慣れました。

Q 今回のサークルに講座を契機に入会したいかどうか?

受講者全員が「いいえ」

理由、高齢のため、遠方のため、介護のため・・・など
ただし、講座なら受講希望という意見あり。

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes 5 3 1	No	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		年配の方が比較的多かったが、コミュニケーションをとりながら作業をしており、和やかな雰囲気の講座であった
	②市民のニーズに込えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがなにか	<input type="radio"/>		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	<input checked="" type="radio"/>		コスト的には教材費も安いので、現状の手段・企画を今後も継続したいと考える。
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか	<input type="radio"/>		
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか	<input type="radio"/>		
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	<input type="radio"/>		サークル化については、今回の感想より難しい状況であるが今後も講座を通じて広く呼びかけができればいいのでは。
	②市民の理解を得られる事業であるか	<input checked="" type="radio"/>		
	③受益者負担は今のままで良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切・できない・ない		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes 5 3 1	No	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		実施時期が年賀状準備し始めるころであったので市民ニーズに合っていた。毎年参加されている人もいて、公民館事業として市民ニーズにこたえているのでは。ただし、PCで作る若い世代の人がいなかったと思う。
	②市民のニーズに込えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがなにか	<input checked="" type="radio"/>		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	<input checked="" type="radio"/>		参加者の意欲関心が高かった。参加者が女性が多く女性の関心度が高かった。参加者のほとんどがデザインが何種類もあって参加者が混乱していた様子もあった。個別指導及び材料の準備等も行き届いていた
	②講師は事業内容に合っていたか	<input checked="" type="radio"/>		
	③参考資料・材料などが適切であったか	<input type="radio"/>		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	<input type="radio"/>		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	<input checked="" type="radio"/>		毎年実施していただきたい事業です。彫り終って刷りに入る日は、早く終わる人といろいろな方が見受けられたが全員の方が自分の作品に集中して楽しんでた。
	②出席率は良かったか	<input checked="" type="radio"/>		
	③事業の目的が達成されたか	<input checked="" type="radio"/>		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	<input type="radio"/>		
評価	5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当 1⇒わるい			

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント	指導者の人数が多く、教えてもらいやすくわかりやすい参加者サイドに立って事業だった。
	彫刻等の研ぎ機もあり、作業しやすい環境が整っていた。経験や器用さの違う参加者が十分に楽しみ満足いただけたのでは
	参考資料が工夫されたことと、講座の回数を多くしたことにより、作る方たちに余裕をもって仕上げてもらおうよう変更され
	内容見直しに努力されている様子が見られた。

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」、右寄りならば事業について再考すべき

平成 29 年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
東地文化センター	西ヶ谷

事業名	サークル企画講座2(七宝焼教室)	事業担当 職員数	1	予算額	10	千 円
				実施額	10	

1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(2)地域に根ざした生涯学習の推進
基本施策	①地域課題の解決や市民生活向上のための学習機会の提供 ②市民の自主企画による学習機会の提供

2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	期間	定員
市内在住・在勤者	平成30年2月15日(木)	15
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
東文活動サークルと協力して市民向けの講座を実施することで、手工芸の楽しさを実感していただきサークルへの加入を促す。		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか) ※プログラム構成の内容		
七宝焼きを通じて自分だけのペンダントなどを作る。講師については、東文活動サークル「七宝バラの会」の皆さんに依頼して講座を行う。		

3. 事業の実績

	活動指標	実績値			備考
		前々年度	前年度	今年度	
①	講座等の回数	-	-	1	
②	応募率(%) (定員/申込者数)	-	-	14/15 (93%)	1名欠席
③	回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	-	-	93%	
アンケート結果による受講者の感想等					
<p>○初めての七宝焼きちょっと心配でしたが完成しました。世界に一つの「宝」物です。ありがとうございました。</p> <p>○とても楽しかったです♪段階ごとに教えていただきましたのでお陰さまで気に入るのが出来ました。ありがとうございました。早く付けたいです！お疲れのことと思います。</p> <p>○色、材料の組み合わせにより無限に作品が広がります。世界にたった一つの作品が出来上がります。奥が深いです。機会があれば又参加したいと思います。</p> <p>○素敵な作品が出来ました。本件と色々温度の溶け具合、なかなか難しい…。ありがとうございました。</p> <p>○初めての体験でとても楽しい時間を過ごせました。思い通りにならないところもまた味になり七宝焼きの奥深さを知ることができ良い機会になったと思います。機会があればまた参加したいです。ありがとうございました。</p> <p>○初めての体験でしたが係の方の優しいご指導により素敵な作品が出来ました。私の胸元を素敵な華やかな雰囲気にしてくれるでしょう。ありがとうございました。</p> <p>○初めての七宝焼でした。色付けしているときの想像が完成した色合いを見て見事に裏切られた感じが想像以上に色の溶け合いが美しく、感動しました。物作りの楽しさを味わうことが出来ました。ありがとうございます。</p> <p>○イメージした色と焼き上がりの色が異なり、難しかったがそれが七宝の楽しさなのだと感じました。快く指導いただけて良い体験が出来ました。これからもこういった様々な体験講座を開催していただきたいです。</p> <p>○はじめはやり方が分からなくて悩んだりしましたがいろいろ聞いて色付けし、焼くとまた色が変わってとても奥が深いと思いました。もう一つ作ってみたいかったです。とても楽しく作ることができました。素敵なブローチが出来ました。バッグにつけたり、洋服につけたり楽しみたいと思います。バラの会の方々にはお世話になりました。ありがとうございました。</p>					

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価			コメント
		Yes ← 5 3 1 → No			
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	1	2	3	受講生同士が作品を作りながらコミュニケーションをとっており、和やかな公民館的な講座であったと感じました。受講生が女性のみであったことが少し残念です。
	②市民のニーズに応えているか	1	2	3	
	③公民館の事業としてふさわしいか	4	5	6	
	④事業の参加者に偏りがいないか	2	3	4	
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	1	2	3	講師により事業の準備を入念にさせていただき、効率的に運営していただいたと感じています。
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか	1	2	3	
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか	4	5	6	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	1	2	3	サークル企画講座については次年度以降も広くサークルに呼びかけが必要と思います。
	②市民の理解を得られる事業であるか	4	5	6	
	③受益者負担は今のままで良いか	4	5	6	
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切・できない・ない			

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価			理由
		Yes ← 5 3 1 → No			
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	1	2	3	手工芸の講座は望んでいる人が多いが、なかなか実現が難しく、今回11年ぶりの講座あり、館で長く続いているサークル紹介を兼ねての1日講座ということでサークルのことをより知ってもらえてよかったとおもう。
	②市民のニーズに応えているか	1	2	3	
	③公民館の事業としてふさわしいか	4	5	6	
	④事業の参加者に偏りがいないか	4	5	6	
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	4	5	6	七宝焼き自体がどこでもできるものではないので、参加者の関心は高かったものと思われる。今回は1日だけの講座だったので、途中までサークルで作っていたので、参加者は色選び、色付けに時間をかけて楽しんで作っていた。
	②講師は事業内容に合っていたか	4	5	6	
	③参考資料・材料などが適切であったか	4	5	6	
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	1	2	3	
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	4	5	6	毎年実施していただきたい事業。多くの方に参加してもらえてよかった。3時間の長い講座であったが、参加者は楽しみが膨らむにつれ、時間を忘れていたようだった。自分の作品の美しさ感激したのではない。
	②出席率は良かったか	4	5	6	
	③事業の目的が達成されたか	4	5	6	
	④この事業内容は見直しなくて良いか	1	2	3	
評価	5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当 1⇒わるい				

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果=A	A⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント 参加者の大半が初心者であることで、足並みがそろった教室となっていた。	
指導者の人数も多く、丁寧な対応ができていた。全員の方が、作品として仕上がって喜んでもらい、公民館で学んだことを市民に還元するよい機会となった。個別指導に入る前に資料があったので、全体的な手順の流れや解説がある	
とよかったと思う。メンバーを増やしたり、サークルにとって館主催で講座を開催することは、ただ見学者を募るより	
活動内容を知ってもらう上でかなり有効。今後も館主催のワークショップ開催を望む。	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

2) 評価点は数直線上に○を付す⇒左寄りならば「良いと評価」、右寄りならば事業について再考すべき

座間市公民館事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
成人学級	親と子が共に育つ教室	9～12月	子育て中の親を対象とした、家庭・子育て・社会参加等の基礎学習。	4-1 4-2	453
	パパと遊ぼう in 公民館	7月・10月	父親の育児を促すためにこどもの発達と月齢に応じた、父親ならではのこどもの遊び方を学ぶ。	3-3 4-1	30
	まちづくり・ひとづくり講座	11月	歴史・文化・芸能等について学び、市民参画のまちづくりを考える。	2-3	50
成人一般	暮らしと健康講座	9～10月	心身ともに健康に暮らすための学習。	1-1	25
	暮らしの実用講座	1～3月	日常生活が豊かになるための学習。	1-1 6-1	15
	パソコン講座	10・2月	ワード入門、エクセルの基礎2講座を開催。	3-1	315
	婚活講座	7月	地域課題でもある晩婚化・少子化対策として未婚の男女に出会いの場を作り公民館を知ってもらう。	3-1 3-3	86
	保育ボランティア養成講座	2～3月	課と3館共催で保育ボランティアの養成を図る。	1-1 4-1	20
	しめ飾り教室	12月	しめ飾り作りを通して伝統文化を学ぶ。	2-3	15
	子育てサロン	年間	乳幼児をもつ親が自由に参加して、交流・情報交換する場所を提供する。	4-1 4-2	40
少年少女	ふれあい自然科学クラブ	年間	自然や科学に親しみながら共同学習の場を得る。	5-1	139
	夏休みクラフトスクール	7月	夏休み期間中に児童を対象とした工作教室を開催する。	5-2	25
	おはなし会	年間	おはなしを通して子どもの豊かな心を育てる。	5-1	45
	本はともだち	年間 4回	絵本・児童書の紹介と普及。	5-1	25
	親子で郷土料理教室	12月	料理を通し座間の食文化(伝統料理)を学び、異年齢間の仲間づくり。	2-3	14
催しもの等	コミュニティー祭(公民館まつり)	5月	利用者の一年間の成果の発表と地域住民とのふれあいを図る。	2-3	200
	春の子どもフェア	3月	映画や催しを提供し、情操教育に努めるとともに、世代交流と仲間づくりの場とする。	5-1	60
	こども夏まつり	8月	地域の子どもと企画・立案をし、夏休みの一日を楽しく過ごすことで、世代交流と仲間づくりの場とする。	5-1	50

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
	公民館コンサート	11月	地域の人と楽しむコンサートを開催し、癒しの場を提供する。	2-1	40
	おもちゃ病院	年6回	おもちゃの修理を通じて物を大切にすること、(もったいない)の心を育てる。	—	10
	地域学校との交流会	随時	養護学校と地域交流を図る。	6-2 7-5	—
会議他	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	1199
	利用者代表者会議	随時	公民館の利用等について協議する。	9-2	-
	図書室その他の活動	年間	貸し館、図書室活動、その他	—	2833
刊行物	「親と子が共に育つ教室」等まとめ誌発行	年1回	事業の紹介及び受講生の感想等刊行物を発行する。	—	23
施設	設備整備事業費	年間	会議室用の机	—	312
	大規模修繕事業費	9月～12月	建設から35年経過し、経年劣化による外壁等改修工事を行う。	—	22,929
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、光熱水費等	—	12,738

北地区文化センター事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
成人学級	いきいき学級	11～12月	高齢者への学習活動と交流の場を提供する。	6-1	60
	子育てわくわく学級	5～7月	子育てについての学びと共に親の自立をめざす。(0～幼児)	4-2	294
成人一般	すくすく講座	未定	子育ての方法を具体的に学ぶ。	4-2	—
	市民セミナー	未定	毎日の暮らしを快適にするための講座を開催する。		60
	しめ飾り教室	12月	しめ飾り作りを通して、伝統文化を学ぶ。	2-3	10
	パソコン入門講座	未定	ボランティアクラブの協力を得て、パソコン入門講座を開設する。	3-1	60
	にほんご教室	年間	外国籍市民が日本での日常生活に必要な日本語を学習する機会を提供する。	3-1	20
	大人のための朗読会	年3回	大人に文学作品等の朗読を通じて理解を深める。	1-1	70
	音楽サロン	未定	音楽の種類や歴史をサロン形式で楽しむ。		40
	地域健康講座	未定	地域の医療機関と協力し、健康や予防に関する知識を深める。	7-1	—
	サークル体験講座	未定	サークルと共催し新しい体験の機会を提供する。	7-5	—
	親子で「米作り隊」	6～12月	農村として長く発展してきた座間の風土を、稲作を通して体験し、自然、家族とのふれあいをする。	2-3	—
少年少女	キッズよさこい	2・3・4月	よさこい鳴子おどりを学び、地域の祭りに参加することにより子どもの仲間づくりをする。	5-1	34
	フリースペース	年間	不登校を語る会の協力を得て、不登校の生徒・親の相談の場として、毎週火曜日の5時から7時、図書室を開放する	5-1	30
	夏休み宿題応援	夏季	夏休み期間中の児童、生徒の自由研究、学習支援を行う。	5-1	10
	はじめての手話講座	7月	聴覚障がい者の方を指導者に迎え、手話を学びながら聴覚障がい者と交流をする。	5-1	30

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
その他	多文化交流サロン	4月～3月	日本と外国の異なる文化や習慣についておしゃべりするサロン。		—
	食生活教室	未定	食生活改善推進団体などから料理を学ぶ。	1-1	41
催し物等	クリスマス会	12月	おはなし会や人形劇で楽しいクリスマスの一日を過ごす。	5-1	10
	子どもおはなし会	年間	こども達に、絵本やおはなしの楽しさを知ってもらおう。	5-1	40
	うたって♪あそぼ	年間	親子で朗読や歌を楽しみ情緒を育む。	5-1	20
	子育てサロン	年間	子育て中のお母さんの居場所を地域の方の力を借りてサロンとして開設。	4-1, 2	20
	いきいき会	毎月第3木曜	絵手紙や簡単な体操、おしゃべりなど地域に仲間が少ない方も予約不要で気軽に参加できる交流会。	6-1	—
	おもちゃ病院	年6回	おもちゃの修理を通じて物を大切にすることを学ぶ。	1-1	10
	スプリングコンサート	3月	乳幼児から大人まで誰もが気軽に音楽を楽しむ機会とする。		100
	いちにち子どもランド	7月	地域のこども達と館利用サークルの交流をはかり、子ども達のセンターへの理解と親しみを深める。	5-1	50
北地区文化祭	10月	館利用サークル等の一年間の成果発表と交流の場。	2-3	200	
会議等	利用団体等代表者会議	4・9月	センターの利用等について協議する。	9-2	—
	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	—
	その他の活動	年間	貸し館、図書室活動、その他	8-1	—
施設	設備整備事業費	年間	会議室用備品	—	434
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、光熱水費等	—	14,980

東地区文化センター事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
講座教室など	あすなる大学	年間	高齢者の自立した学習の場。	6-1	247
	料理教室(食育教育)	未定	料理をつくることを通して、調理の楽しさや食生活の工夫などを見直す。	2-3	31
	女性のチャレンジライフ講座	未定	女性特有の課題をテーマに学び、相互の交流の場とする	3-3	158
	ワーキングママへの準備サロン	7～12月	再就労を考える母親が関心のあるテーマを取り上げ、サロン形式で情報交換をする。	3-3	140
	地域福祉講座	7～9月	家庭・地域での福祉の課題を、相互扶助の力で解決する「場所」づくりを考える。	2-1	64
	幼児をもつファミリー学級	5～7月	子育て中の母親・父親たちの仲間作りと子育てについて学ぶ。	4-2	278
	社会保障・税講座	5～7月	社会保障・税について学ぶ。	3-1	34
	木版画教室	11月	年賀状の作成をとおして木版画の楽しさを知る。	1-1	26
	パソコン講座	9月、11月、3月	パワーポイント講座(Ⅰ)(Ⅱ) ワード入門講座(1～2月)	3-1	72
	しめ飾り教室	12月	わらを使ってしめ飾りづくり。	2-3	16
	親子自然体験教室	年間	親子でアウトドアライフを楽しむ。	5-1	44
	日曜科学教室	毎月第3日曜日	小学校低学年の子どもが、実験や工作をとおして科学の楽しさを知る。	5-1	40
	放課後学びと居場所	未定	公民館で活動する日本語ボランティアを養成する	5-1	50
	わくわく科学教室	7月	科学実験を楽しみながら学習する。	5-1	10
	ひがしフリースペース・教育講演会	毎週水曜日	不登校の子どもたちの居場所づくりと学習支援	5-1	52
	だんだんリビング	年間	乳幼児を持つ保護者の仲間づくりと情報交流をすすめる。	4-2	16
	エクスチェンジ	毎月第3水曜日	不用品の交換をとおして、リサイクルへの関心を高め、併せて地域の交流の機会とする。	3-1	16
	手工芸(折り紙サロン)	年間	折り紙のたのしさを伝承	1-1	20
	保育ボランティア養成講座	2～3月	講座の保育を担うボランティア養成講座(3館)	4-1	20
	サークル企画講座	通年	利用サークルと協力して市民向け講座を実施		36
おもちゃ病院	隔月第4土曜日	壊れたおもちゃの修理をとおして、物を大切に育てる。	3-1	10	

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
催しもの	子どもおはなし会	毎週水曜日	幼児におはなし、手あそび、紙芝居などを楽しんでもらう。	2-2	20
	サマーアイランド	7月15日	夏休みの一日を地域の仲間と楽しむ。	2-2	50
	みんなで作る文化祭	10月19～21日	利用者と地域の人たちの一年間の学習成果の発表と交流	2-3	200
	ひがしクリスマス会	12月	クリスマス会で人形劇やおはなしを楽しむ。	2-3	23
	春のお楽しみ会	3月	春休みにいろいろな体験をする。	2-3	28
会議他	利用団体等代表者会議	4・9月	センターの利用等について協議する。	9-2	—
	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	—
	その他の活動	年間	貸し館 図書室活動、その他	—	82 2,564
事業経費	学級・講座等事業維持費	年間	印刷機、パソコンリース等維持管理用	—	586
施設	整備事業費	年間	会議室用備品		780
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、高熱水費等		15,624